

第1章 情報社会と私たち

情報社会 教科書 p.6～p.9

年組番号

氏名

01 確認問題

1 情報社会と情報 ▶p.6 ～ p.7

(①情報)とは、行動や意思を決める時の判断材料になる事実や事がらをいう。その事実や事がらを数字や文字、記号を用いて表現したものが(②データ)である。(③知識)は、(①)を分析して(④問題解決)に役立つように体系化したものである。(③)は蓄積され、自分自身や他者によって(⑤再利用)されて新たな(③)が作られる。情報社会では、このような(③)を用いて新しい(⑥技術)を創出し、問題を解決して社会を発展させる。このような(③)の創出と循環をもとにして発展させる社会を(⑦知識基盤社会)という。

スマートフォンやコンピュータなどを使ってやり取りする情報は、(⑧デジタル)化されている。(⑧)化された情報は、正確な(⑨コピー)が簡単にでき、多くの人にすぐに送ることができる。例えば、スマートフォンなどで写真を撮り、(⑩SNS)で発信することで、多くの友だちや遠くに住む親せきなどに瞬時に見てもらうことができる。その一方で、(⑪個人)を特定できる情報や(⑫プライバシー)にかかわる情報など、広めてはいけない情報が(⑨)され、多くの人の手に渡り、悪用される可能性もある。友だちに限定して公開したつमोरの写真を、友だちの一人が(⑬ブログ)で発信すると、想定していなかった人に閲覧されてしまう。私たちは、(⑭著作権)や自分および他人に関する情報などの扱いに、常に気を配る必要がある。

情報技術の進展によって(⑮コミュニケーション)も変化してきた。(⑯対面)では、表情や声の調子などの情報を暗黙のうちにやり取りして会話を行うが、(⑰ネットワーク)上の(⑮)では、(⑯)に比べ、相手の(⑱気持ち)を把握しにくい^{はあ}ため、誤解することや、会話を終わらせるタイミングが難しくなることがある。

2 情報化の光と影 ▶p.8 ～ p.9

情報化は、人類に大きな利益と幸福をもたらしている。(①インターネット)に集積された世界中の情報から、必要な情報や新しく更新された情報、(①)上の個人の閲覧(②履歴)や購入(②)などをもとに推薦される情報などさまざまな情報を入手することができる。

情報化の進展は、一方で、私たちの生活をおびやかす出来事が起きる要因にもなっている。例えば、スマートフォンを利用することで、他人を(③中傷)するような書き込みやネットいじめ、(④SNS)などのコミュニティサービスやオンラインゲームなどを悪用した犯罪、メールの本文にあるリンクをクリックすると利用料金を請求される(⑤ワンクリック)請求や架空請求^{かこうせいきゅう}、(⑥ネットショッピング)などでの詐欺やトラブル、(⑦プライバシー)の侵害や(⑧個人情報)の漏えい、画像の公開などによる(⑨著作権)や肖像権の侵害、(⑩ネット)依存やゲーム依存などの問題やマナー違反が生じることがある。

